

令和6年度 香美市こども議会

令和7年2月7日

香美市教育委員会

## 令和6年度 香美市こども議会会議録

招集の場所 香美市役所 3階会議室

会議の日時 令和7年2月7日金曜日 午前10時00分宣告

出席の議員

香北中学校

1年 岡村 苺佳  
1年 西奥 鈴  
2年 高橋 葉  
2年 北田 隼大  
2年 黒木 愛菜  
2年 野々屋 桜駕  
2年 市原 明日未  
2年 萩野 虎

2年 池上 夕雲  
2年 安井 龍希  
2年 山内 創太  
2年 小松 泰司  
2年 小松 巧  
2年 中田 宥恵海  
3年 花田 浩志  
3年 井上 大登

説明のため会議に出席した者の職氏名

### 【市長部局】

市長 依光 晃一郎  
副市長 村上 真祥  
総務課長 竹崎 澄人  
企画財政課長 黍原 美貴子  
定住推進課長 小松 伯聖  
防災対策課長 中川 英斉  
税務収納課長 猪野 高廣  
市民保険課長 萩野 貴子  
福祉事務所長 野邑 裕永  
健康推進課親子すこやか班長 川渕 美香  
高齢介護課長 中山 繁美

建設課地籍調査班長 大和 正明  
農林課長 川島 進  
商工観光課長 門脇 正人  
環境課長 依光 伸枝  
管財課長 三谷 恵司  
ふれあい交流センター所長 原 美和子  
会計管理者兼会計課長 明石 清美

### 《香北支所》

支所長 石元 幸司

### 《物部支所》

支所長 片岡 亮

### 【教育委員会部局】

教育長職務代理者 宮地 憲一  
教育次長 中山 泰仁

教育振興課長 一圓 まどか  
生涯学習振興課長 小松 幸春

### 【消防部局】

消防長 野口 正一

### 【その他の部局】

農業委員会事務局 和田 雅充

上下水道局長 西村 安史

職務のため会議に出席した者の職氏名

議会事務局書記 横田 恵子

## 議事日程

令和7年2月7日（金） 午前10時開議

### 一般質問

- |   |     |        |
|---|-----|--------|
| ① | 1年生 | 岡村 苺佳  |
| ② | 1年生 | 西奥 鈴   |
| ③ | 3年生 | 花田 浩志  |
| ④ | 2年生 | 高橋 葉   |
| ⑤ | 3年生 | 井上 大登  |
| ⑥ | 2年生 | 野々屋 桜駕 |
| ⑦ | 2年生 | 市原 明日未 |
| ⑧ | 2年生 | 萩野 虎   |
| ⑨ | 2年生 | 池上 夕雲  |

## 議事の経過

(午前10時00分 開議)

○議長(中田宥恵海君) おはようございます。ただいまの出席議員は15人です。  
定足数に達していますので、これから令和6年度香美市こども議会を開会します。  
直ちに、本日の会議を開きます。

議事に先立ちまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はお忙しい中、お集りいただきありがとうございます。こども議会の開催に当たって、私たち香北中学校では、香美市の安心安全でより住みやすいまちづくりの為に意見や質問を考えてきました。

今日は香美市の中学生代表として、責任を持って質問をしていきたいと思います。  
皆さん、よろしくお願いします。

これから、一般質問を行います。通告順に従いまして、順次質問を許可します。

1番、1年生、岡村苺佳さん。

○1番(岡村苺佳君) 1番、岡村です。

冬などの日没が早い時期は、私達が下校する午後6時になると周りは真っ暗になります。当然、自転車で下校する際はライトを付けて下校していますが、通学路には街灯が少なく、自転車の明かりだけでは周囲が見えず、いつ事故が起きてもおかしくない状況にあります。

そこで、生徒だけでなく市民の安全確保と事故の未然防止の観点から、香北町の街灯を増やしていただけないでしょうか。

○議長(中田宥恵海君) 防災対策課長、中川英斉さん。

○防災対策課長(中川英斉君) お答えします。

街灯の増設をというご質問ですが、ここでは市民の安全及び犯罪被害の未然防止の観点から、設置されている防犯灯についてお答えをします。

防犯灯につきましては、地域の自治会が設置し、その電気代や修理費用は香美市が補助しています。防犯灯を新たに増やす場合は、地域の自治会から防災対策課へ設置の認定申請をすることになります。まずはご両親に地域の自治会長を紹介してもらうなどして、自治会長に相談していただきたいと思います。

○議長(中田宥恵海君) 岡村さん。

○1番(岡村苺佳君) 丁寧なご回答を頂きましてありがとうございました。

以上で質問を終わらせていただきます。

○議長(中田宥恵海君) 1年生、岡村苺佳さんの質問が終わりました。

次に、2番、1年生、西奥 鈴さん。

○2番(西奥 鈴君) 1年の西奥です。

香北中学校は全校部活ではありませんが、ほとんどの生徒が入部し、それぞれの活動を楽しみながら、大会やコンクールに向けて日々切磋琢磨しているところです。

そんな中、秋の終わりから春先にかけての日没が早い時期において、香北町では午後4時半頃には薄暗さを感じ、午後5時過ぎにはほぼ真っ暗な環境となります。

この時期にグラウンドで活動している部活動、サッカー部や陸上部は、小さな照明一つを頼りに活動をしているのですが、明るさや範囲が乏しく、練習内容が制限されると同時に安全に練習ができる状況にはありません。

そこで、日没の早い時期だけで構わないので、もう少し明るく広範囲を照らす照明設備を学校のグラウンドに設置していただけないでしょうか。

○議長（中田宥恵海君） 教育振興課長、一圓まどかさん。

○教育振興課長（一圓まどか君） お答えいたします。

先日、香北中学校のグラウンドに行き、現在の状況を確認してきました。また、先生方にもお話をお伺いをし、冬の時期、暗い中、練習をしているということもお聞きしました。大変厳しい環境の中でやっているということにつきましては、教育委員会としましても本当に申し訳なく思っております。

ただ、今まで照明設備が設置できなかった経過も調べてみますと、周辺に農地がある為、光害の影響で農作物にも被害が出る恐れもあり、設置できなかったのではないかとのお話も確認しております。

このようないろいろなことを踏まえまして、周辺にも配慮しながら部活動を行っていく為には、どのようにすればいいかということを委員会としましても検討していきたいと考えております。

以上です。

○議長（中田宥恵海君） 西奥さん。

○2番（西奥 鈴君） 丁寧なご回答をいただきましてありがとうございます。

以上で質問を終わらせていただきます。

○議長（中田宥恵海君） 1年生、西奥 鈴さんの質問が終わりました。

次に、3番、3年生、花田浩志さん。

○3番（花田浩志君） 3年の花田浩志と申します。

香北町出身のやなせたかしさんの夫婦をモデルとした連続テレビ小説「あんぱん」が今春から放映予定であることが楽しみであり、そして誇りに思うところです。

やなせたかしさんと言えば、番組のタイトルにもなっているとおりアンパンマンの作者であり、アンパンマンは香美市最大の魅力ある特徴だと思っています。事実、香北町にはアンパンマンミュージアム、アンパンマンのマンホール、そして、アンパンマンの石像が設置され、有力な観光資源となっていることと思います。

しかし、アンパンマン図書館やアンパンマンの街灯のように、次々とそれらが消失していくことは、香美市の魅力ある特徴が失われていき、発展の鍵を失うものであると考えています。香美市の発展に欠かせないアンパンマンをシンボルとした、例えば新たな街灯であるとか、アンパンマンをモチーフにした観光資源の製作が必要である

と考えますが、ご意見を伺いたいと思います。

○議長（中田宥恵海君） 商工観光課長、門脇正人さん。

○商工観光課長（門脇正人君） お答えをいたします。

香美市香北町は、やなせたかしさんの故郷です。その故郷の香北中学校に通われている生徒の皆さんにとって、アンパンマンのキャラクターは身近で特別な思い出があると、今回のご質問を通じて実感いたしました。

ご質問のとおり、香北町内にはアンパンマンミュージアムを初め、アンパンマンをモチーフとした観光資源がございます。しかし、老朽化したものは新しいものに更新し、更新できない場合は撤去等を検討する必要があるとございます。この更新に当たりましては、やなせたかしさんが香美市の為に遺してくれた13体のイメージキャラクターと星のキャラクター、カミーティアをこれまで以上に市民に身近に感じていただくため、そして、観光客へ香美市をPRする観光資源としての活用を進めております。

ご質問の中でおっしゃったように、アンパンマンはやなせたかしさんが創作された代表的なキャラクターですので、見慣れた町の景観から、その存在が無くなった際の喪失感は理解をいたします。その一方で、やなせたかしさんが香美市のキャラクターを創作するにあたって込めた故郷への想いを馳せてみますと、このキャラクター達をできるだけ多くの場面で活用するというのが、私たちがやなせたかしさんの想いに報いる方法ではないかと考えております。したがって、新たにアンパンマンをモチーフにした観光資源の製作は現在のところ考えておりません。

また、やなせたかしさんのキャラクターに限らず、創作されたものは著作物として著作権者が求める条件に従って、許可を受けることによってその利用をすることができます。このことも十分踏まえた上で、今後、さまざまな状況に適したキャラクター等を観光資源として活用してまいります。

以上です。

○議長（中田宥恵海君） 花田さん。

○3番（花田浩志君） 大変参考となるご回答をいただきましてありがとうございます。

以上で私からの質問を終わらせていただきます。

○議長（中田宥恵海君） 3年生、花田浩志さんの質問が終わりました。

次に、4番、2年生、高橋 葉さん。

○4番（高橋 葉君） 2年、高橋 葉です。質問します。

香美市の教育長が不在となって約9カ月が経ちます。教育長の不在によって教育現場の混乱や住民の不安など、解消すべき新たな問題が予想されるにも関わらず、何故教育長は決まらないのでしょうか。

また、教育長が不在であることにより、教育現場にどのような影響があると考えているのか、あわせて教えてください。

○議長（中田有恵海君） 教育長職務代理者、宮地憲一さん。

○教育長職務代理者（宮地憲一君） 教育長職務代理者の宮地です。

教育長の不在問題に関するご質問ですが、そのお答えする前に、教育委員会制度について知らない人が多いと思うので説明をさせてください。

教育委員会は全ての都道府県と市町村に置かれており、常勤の教育長と通常は4人の非常勤の教育委員で構成をされています。教育長は教育委員会の代表者です。

教育委員会の組織は、偏った教育がなされることを防ぐために、知事や市町村長、香美市の場合は市長です。から独立したものとなっています。そして、教育長と教育委員は、市町村長、香美市の場合は市長です。が、議会の同意を得て任命することになっています。

教育委員会の仕事は、学校を設置すること、児童生徒の就学、転校や入学、先生方の人事や研修、校舎や施設の整備、学校で使用する教科書選びなど、その町の教育について大切なことを教育委員会の会議で決定をします。他にも図書館や公民館、体育施設の設置や文化財の保存、活用なども教育委員会の大切な仕事です。

そして、教育長と4人の教育委員で構成する教育委員会の会議で決定したことに基づいて、教育長が教育委員会事務局の職員を指揮監督して具体的に仕事を行います。

教育委員会の仕事はたくさんあります。それらを教育長が職員を指揮監督して行いますので、毎日とても忙しいです。その教育長が今年の5月26日から不在となっておりますので、皆さんを初め学校の先生方、保護者、市民の皆さんが不安になるのは当たり前だと思います。

ただ、国の法律、これは地方教育行政の組織及び運営に関する法律と言います。これでは、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは教育委員が教育長の職務代理者としてその職務を行うことになっています。香美市では、現在、教育委員の私が教育長職務代理者として教育長の仕事をしています。

初めに述べましたように、教育委員は常勤ではありません。非常勤の職です。毎日教育委員会で仕事をするようにはなっていません。でも、日々多くの仕事がある教育委員会にとって、責任者がいないということは考えられません。これでは学校などの教育現場を初め、さまざまなことに支障が生じることは避けられません。不安になるのは当然だと思います。

そこで、今年の5月26日に教育長職務代理者となって以降、直ぐに各小中学校の校長先生に対して、教育長が不在となりましたが学校には絶対に迷惑をかけません。教育を後退させることはあってはなりません。何でも相談してください。連絡を密にしてやって行きましょうとお話をさせていただきました。また、教育委員会の事務局職員の皆さんにも、全員が一致協力して教育行政を進めて行きましょうと呼び掛け、お話をさせていただきました。

それ以来、各学校では、校長先生を初め先生方が一つになって毎日一生懸命、児童

生徒の皆さんへの教育に当たっていただいています。教育委員会の事務局職員の皆さんもまた、教育に支障があってはいけないと物凄く頑張ってくれています。勿論、教育長職務代理者の私も、みんなの先頭に立って、ほとんど毎日出勤して大切な仕事をこなしてきました。その結果、教育は順調に行われていると思います。むしろ教育は進んできたと思います。

昨年の12月14日の香北中学校コミュニティプロジェクト発表会で、皆さんのプレゼンを聞いて私が講評させていただいたことや、そして、1月25日のIB教育成果発表会で、皆さんの学習する姿や態度を見て、そう私は確信をいたしました。坂下校長先生からも、生徒の成長が著しいとの報告も受けています。皆さんも自分たちは力を伸ばしてきたぞという実感があると思います。

まあそうは言っても、常勤の教育長の不在は大変困ります。今はこうして私が教育長の仕事の全てを行っていますが、教育長も職務代理者も不在となれば、教育行政に大きな支障を来すことになります。

例えば予算の執行が十分にできなくなる恐れもあります。学校の施設の修繕ができなくなったり、教材や教具が購入できなくなったりする恐れもあります。また、学校の校長先生方を初め先生方、教職員の人事にも大きな支障が生じます。学校給食に影響があるかもしれません。更に学校の組織編制、教育過程、学習指導、生徒指導などの学校に対する指示や指導・支援にも大きな影響が生じ、学校教育が大きく後退します。この他たくさんありますが、長くなるので省きます。

ですから、このようなことが生じないよう、私たち4人の教育委員は市長さんに対して、一日も早く教育長を決めていただきたいとお話をしています。また、香美市議会の議員の皆さんにもお願いをしているところです。

大人の問題なのに、中学生の皆さんにもご迷惑、ご心配をかけ、大変申し訳なく思っています。これからも早く教育長を決めていただくよう、市長さんや議会の皆さんにお願いをしていきたいと思っています。

以上です。

○議長（中田宥恵海君） 高橋さん。

○4番（高橋 葉君） 丁寧なご回答をいただきまして、ありがとうございました。

以上で質問を終わります。

○議長（中田宥恵海君） 2年生、高橋 葉さんの質問が終わりました。

次に、5番、3年生、井上大登さん。

○5番（井上大登君） 3年の井上大登です。

少し前にアンパンマン図書館が閉館となり、町内施設としては、本を読むスペースが無い基幹集落センターにある小さな図書館だけとなりました。

そもそも図書館の利用目的は読書だけでなく、例えば静かな環境で勉強したい人や、調べ物をする為に利用する人も多くいます。そう考えると香北町の住民は、落ち着いた



て勉強したい場合や、静かな環境で勉強したいとなると、約11キロメートル離れた香美市立図書館かみーるまで行かなくてはなりません。気軽に自転車で行こうとしても30分以上の時間がかかります。

そこで、図書館としての機能を充実させた新しい図書館について、香北町内への設置の検討をして欲しいと考えますが、ご意見を伺いたいと考えます。

○議長（中田宥恵海君） 生涯学習振興課長、小松幸春さん。

○生涯学習振興課長（小松幸春君） 生涯学習振興課長の小松です。お答えをさせていただきます。

基幹集落センターの玄関ロビーなどで自習をされておられるという状況にもあるということをお伺いしておりまして、スペースが狭くご不便をおかけしております。

地域の図書館が充実するということは非常に大事であるというふうに考えておりますが、財政的な事情もありまして、新しいものは難しい状況にはあります。ただ、既にある建物を活用するなど、何らかの方法について調査や検討を行いたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（中田宥恵海君） 井上さん。

○5番（井上大登君） 丁寧なご回答をありがとうございました。これで質問を終わらせていただきます。

○議長（中田宥恵海君） 3年生、井上大登さんの質問が終わりました。

次に、6番、2年生、野々屋桜駕さん。

○6番（野々屋桜駕君） 2年、野々屋桜駕です。質問をします。

本校が行っている総合学習の取り組みの中で、災害対策などに関連して、学校に自動販売機の設置を考えている生徒がいます。学校への自動販売機の設置は、南国市内の中学校が昨年行っており、設置校の校長先生にも活動の中でインタビューをさせていただいたところです。

設置に当たっては、課題や生徒・近隣住民のニーズなど、幅広く意見を伺うことが必要であると感じたことから、香美市としてのご意見も伺えればと考えています。

そこで、本校への自動販売機設置に向けて、市長や市役所の方々にプレゼンテーションさせていただく機会を設けていただきたいと考えていますが、いかがでしょうか。

○議長（中田宥恵海君） 教育振興課長、一圓まどかさん。

○教育振興課長（一圓まどか君） ご質問にお答えします。

南国市の中学校で、生徒の熱中症対策や災害時備蓄対応の為に設置されたというお話は私のほうでも確認しております。香美市教育委員会としましても、熱中症対策の為に水分補給は非常に重要であると考えており、特に中学校では部活動もあることから、飲み切ってしまった後に学校に購入できる自動販売機があれば良いのではないかと考えております。

ただ、いろいろな懸念事項もあります。例えば、設置費用は要るのか、電気代はどうなるのか、設置後の管理は誰がするのか、また、学校にお金を持って来ることについてはどうするのかなどを考えていただき、生徒の皆さんが利用するに当たってのルールを作成して、是非プレゼンをしていただければと思います。楽しみにしております。

以上です。

○議長（中田宥恵海君） 野々屋さん。

○6番（野々屋桜駕君） 丁寧なご回答をいただきまして、ありがとうございました。

以上で質問を終わります。

○議長（中田宥恵海君） 2年生、野々屋桜駕さんの質問が終わりました。

次に、7番、2年生、市原明日未さん。

○7番（市原明日未君） 2年、市原明日未です。質問をします。

近年、医療費の無償化を導入する自治体が増えており、近隣では香南市が高校卒業まで医療費の無償化の対象を引き上げています。しかし、香美市での医療費無償は中学卒業までとなっており、高校に進学すると高い費用を負担しなければならず、親の負担が増える大変な状況となります。

実際に定期健診で通院している本校生徒によると、薬の値段も高騰しており、とても簡単に買えるようなものではなく、健康と生活に悩みを抱えなければいけない状況にあるとのことから、香美市においても医療費の無償化対象を高校卒業までに引き上げて欲しいと考えますが、ご意見を伺いたいと思います。

○議長（中田宥恵海君） 市民保険長、萩野貴子さん。

○市民保険長（萩野貴子君） お答えいたします。

医療費無償化の対象年齢を15歳から高校生世代の18歳までとする条例の改正が12月の香美市議会定例会において議決されております。令和7年4月から引き上げをいたします。現在、実施に向けて対象者の方に案内文書をお送りし、受給者証発行の手続きを進めております。また、広報香美とホームページにその旨を掲載し、お知らせをしております。本議会におきまして良いタイミングでご質問をいただき、ありがとうございます。生徒の皆さんや住民の方への周知にもご協力をお願いいたします。

子どもの医療費助成は、子育ての経済的負担が軽減できるよう、各市町村が自己負担分の助成を独自に行っております。その為、各市町村の財政力や施策の優先度により、対象年齢や所得による制限、また自己負担の有無などに違いがある現状です。

子どもの医療費助成は、何処で生活をしていても必要な医療を公平に受けることができ、誰もが安心して子育てができるよう、全国一律の国の制度の創設が望まれます。

香美市としても、高知県市長会議において、医療費助成の支援拡充を県に要望いたしました。また、全国知事会においては、国に対し制度創設が提言されております。

今後も引き続き、子育てしやすい環境の整備を要望していきたい、また、実施をしていきたいと考えております。

以上です。

○議長（中田宥恵海君） 市原さん。

○7番（市原明日未君） 前向きなご回答をいただきまして、ありがとうございます。

以上で質問を終わります。

○議長（中田宥恵海君） 2年生、市原明日未さんの質問が終わりました。

次に、8番、2年生、萩野 虎さん。

○8番（萩野 虎君） 2年、萩野 虎です。質問をします。

香北町では、昨年9月に横断歩道の無いところを渡っていた女性が、車にはねられ死亡するという大変悲しい事故がありました。また、塗装が薄くなった横断歩道において、通行人に気付いて急停車したことから、後続車に追突される事故も発生しました。

香北の道は信号機も少なく、速度超過して走っている車も多いことから、横断歩道を増やすこと、そして、塗装の薄くなっている横断歩道の再塗装を早急をお願いしたいと考えますが、ご意見を伺いたいと思います。

○議長（中田宥恵海君） 防災対策課長、中川英斉さん。

○防災対策課長（中川英斉君） お答えします。

横断歩道は、停止線や最高速度など交通規制の一つにあたります。今年春からはNHKの連続テレビ小説「あんぱん」の放送が始まります。香美市に県外から多くの観光客が来ると見込まれてますが、地理に不慣れな観光客が起こす交通事故も増えるのではないかと危惧されており、交通規制の増設や補修は交通事故の未然防止に非常に大切なことだと思っています。

しかしながら、交通規制の増設は都道府県の公安委員会が決めております。香美市内の横断歩道の設置や補修の相談窓口は南国警察署になります。香美市のほうから南国警察署に要望しますので、具体的な場所をお示しいただければと思います。

以上です。

○議長（中田宥恵海君） 萩野さん。

○8番（萩野 虎君） 丁寧なご回答をいただきまして、ありがとうございました。

以上で質問を終わります。

○議長（中田宥恵海君） 2年生、萩野 虎さんの質問が終わりました。

次に、9番、2年生、池上夕雲さん。

○9番（池上夕雲君） 2年、池上夕雲です。質問をします。

香北町は山が深く、校区によっては寮で生活している生徒もいます。しかし、家庭の事情等で入寮せず、奥深いところから登校している生徒もいます。ありがたいこと

にそのような地域にもバスは通っているのですが、便数は少なく、1便逃すと数時間待たなければいけないこともあり、大変不便であることから、バスの増便や他の交通手段の増設を検討していただきたいと思うのですが、ご意見を伺いたいと思います。

○議長（中田宥恵海君） 定住推進長、小松伯聖さん。

○定住推進課長（小松伯聖君） 池上議員のご質問にお答えいたしたいと思います。

香美市では、現在13の路線バスと3つのエリア型デマンドバスを運行しており、市民の方々の移動手段の一つとして地域に必要とされています。

また、ご存知のとおり、学校から遠い場所から通う児童・生徒もこの路線バスを利用して登校しております。十分な便数を用意できれば、皆さんがより便利に移動できることは私ども市役所も理解しておりますが、主に2つの理由がございまして十分なバスの運行ができません。

1つ目はお金の問題となります。バスを運行すれば、運転手さんのお給料だけでなく今よりも多くのバスを用意する必要がございます。燃料費もかかってしまいます。現在の状況でも、運賃の収入よりも費用が多くかかっている状況でございます。つまり赤字の運営となっておりますが、バスを利用する人は急に増えないので、便数を増やせば更に赤字が大きくなってしまうということになります。

もう一つの大きな問題、2つ目ですが、バスを運転する運転手が足りないということとでございます。この問題はお金の問題以上に深刻となっております、バスの運転手やトラックの運転手が過労状態であることが全国的に指摘されまして、少子高齢化の影響もありまして、全国的に運転手が不足しているという状況でございます。更に悪いことに、今後、益々運転手不足が深刻になることが予想されておるわけでございます。

これら2つの理由によりまして、バスの数を増やして増便することは難しい状況です。市役所では、これらの今までの路線をできるだけ維持する為、お金や手間のかからない方法や他の交通手段等も検討し続けたいと考えております。皆様にも朝、早寝早起きなどして、できるだけ路線バスに乗り遅れないような規則正しい生活を送っていただくようにご協力をお願いいたしたいと思います。

以上です。

○議長（中田宥恵海君） 池上さん。

○9番（池上夕雲君） 香美市の事情も踏まえたご回答をいただきまして、ありがとうございました。

以上で質問を終わります。

○議長（中田宥恵海君） 2年生、池上夕雲さんの質問が終わりました。

以上で、今こども議会に付された事案は全て議了しました。

こども議会終了に当たり、市長から発言を求められておりますので、これを許可します。市長、依光晃一郎さん。

○市長（依光晃一郎君） 閉会に当たりましてご挨拶をさせていただきます。

まずもって9人の議員の皆様方、身近な話題から、そして、いろいろと考えになって調べていただいて、ご質問いただいたことに感謝を申し上げます。こういった場所で緊張されたと思いますけども、本当に立派に質問してくれたことを嬉しく思っております。教育長職務代理者からもありましたが、立派に勉強、成長をしているということで嬉しくなりました。

また、今日は執行部席に座っているうちの職員さんのほうが緊張してるのではないかなというふうに思いました。答弁書というのを事前に見てるわけですけども、答弁書以上に工夫してお答えをさせていただいたつもりでございます。ただ、皆様方ご丁寧なご答弁って言うてもらいましたけれども、自分から聞いてみたら、もうちょっとできたらなあということも無いわけではありません。今日いただいた内容というのは、答弁ということはさせていただいたんですけども、これからも検討課題として、希望に応えられるような努力もしてまいりたいというふうに思います。

さて、本来であれば議場というところでやっていただきたいんですが、工事の関係で今日はできませんでした。今日、我々の中では未来の議員さんという言葉もありましたし、また、未来の市長になってくれる方もいるのではないかなというふうに思いますので、次の時には上で、本当の、本物としてやっていただきたいなというふうにも思いました。

最後に、今回質問に当たって教育長の問題であるとか、言いにくい質問もしていただいたというふうに私自身も捉えておりますが、思ったことを真つすぐ伝えていただいたとことというのは、本当に感謝をしたいというふうに思います。

やなせ先生が正義ということも言いますけれども、やっぱりみんなが社会をこうしたいということについて、勇気を持っていろいろな、いろんな市民の皆さんからご意見をいただきますけれども、やっぱりそういうことがあって、民主主義と言うか、良い世の中ができていくんだというふうに思っておりますし、私も市長として責任ある立場として、しっかりと取り組んでいきたいというふうに思っております。

最後に、私自身が何故市長になったかというところをお話しさせていただくと、やっぱり人口減少が進むこの香美市、自分は瓦屋っていう仕事をしてたんですけど、家がどんどんどんどん空き家になる状況を見て政治家を志しました。だから人口減少っていう問題は非常に重要な問題でありまして、皆様方はこれから高校、大学、また社会人になって、地域で、日本、世界で活躍するんだと思いますけれども、香美市が選ばれるようなそんな地域にしたいという思いで今市長として頑張っているところです。

次の議会で言おうと思ってたことなんですけど、子どもの数がかなり減っています。令和6年に生まれた赤ちゃんが85人でした。2年くらい前は大体120人くらいおったんですけど、コロナもあって結婚の数が減ってしまったのかなとかあるんですけど、まあ85人、一学年85人、これ山田、香北、物部合わせて85人、当然引っ越

してくる方も増やして、学年も増やしたいと思ってるんですけど、かなり少子化の影響も厳しい状況だというふうに思います。

できればまた香美市で活躍していただきたいというふうに思っておりますし、皆様方からいろいろ意見をいただいて、我々も一緒になって、まちづくりをしていきたいというふうに思います。特に今年は皆様方のお膝元という、アンパンマンミュージアムが大変な賑わいになるというふうに思いますし、多くの方々が県外から訪れてくれることと思っています。そういった方々に対して、是非とも、おもてなしもしていただきたいですし、いろいろと設備投資、まあアンパンマンミュージアムも改修しますし、また美良布の街路灯であったりとか、マンホールであるとか、いろいろと新しくなっていくしますので、またいろんなアイデアと一緒に盛り上げさせていただければなというふうに思っております。

最後にむすびということで、皆様方の今日の質問、しっかり受け止めさせていただいたことを、そして、皆様方が勉学にスポーツに打ち込んでいただけたことをお祈りいたしまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（中田宥恵海君）            ありがとうございました。

それでは、閉会に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、私たちの質問に分かりやすく返答していただきありがとうございました。学校に帰って全校生徒にも伝えます。

今、若者の投票率の低さが大きな問題になっています。私たちは、数年後には選挙権が与えられます。その時にはこのこども議会を思い出して、どのようにすれば香美市がもっと良くなるのかを考え、清き一票を投じることで政治に参加していきたいとします。このような機会をいただきありがとうございました。

以上をもちまして、令和6年度香美市こども議会を閉会いたします。どうもお疲れ様でした。

（午前10時48分 閉会）